

# 企業とNPOは、 なぜ、どのように連携できるか

間接的なつながりから、直接的なつながりへ。

連携とは何か。また、企業とNPOの連携にメリットはあるのでしょうか。企業、NPO、行政、地域、個人、それぞれが抱える困りごと。それを解決する為に、誰と、何をどのように連携していくことが可能であり、すべきなのか。今回の講座と交流を通じ、抱える困りごとや、地域社会の構成員である従業員の課題等を解決する糸口にしてみませんか。

### 日時・会場

今後の連携のあり方とは (村山地区企業85社回答より)

## 形態



## 期待



# 10月6日(日)

13:30~17:00

(受付13:00~)

山形市市民活動支援センター  
高度情報会議室  
(山形市城南町1-1-1  
霞城セントラル23階)

### プログラム ※第2部からの参加も可能です

#### 第1部：企業向け村山地区調査報告 (アミルより)

「社会的責任や社会・地域貢献に対するの取組みと、NPOに対する意識調査」

#### 第2部：解説講義 「地域の企業がNPOと連携する理由とポイント」

#### 第3部：グループワーク&交流

「企業+地域の連携で、地域に『倍返し!』するために」 (仮)

「私の会社・団体の困りごとには、こんなパートナーやヒントが見つかりました!」

定員 50名

申込締切 10月2日(水)

電話かFAX、メールにてお申込み下さい。詳細は裏面をご覧ください。

講師

IIHOE【人と組織と地球のための国際研究所】代表

## 川北 秀人 氏



## 講師プロフィール

87年に京都大学卒業後、(株)リクルートに入社。91年退職後、国際青年交流NGOの代表や国会議員の政策担当秘書等を務め、94年にIIHOE設立。NPOや社会責任・貢献志向の企業のマネジメント、NPOと行政との協働基盤づくり、CSRや環境・社会コミュニケーションの推進を支援している。

特に2001年以来、環境社会報告書・CSRレポートへの第三者意見執筆は計25社106回、市民との対話のファシリテートは計27社88回を担当。12年度の第三者意見執筆は9社（アルパイン、カシオ計算機、協和発酵キリン、損保ジャパン、デンソー、日立ソリューションズ、ブラザー工業、三菱化学、横浜ゴム）。

また、世界初の環境・社会報告書の読者調査「環境・社会報告書リサーチ」（環境goo主催）でも、2001年の調査開始以来、企画・設計・分析を手がけている。

【主な役職】IIHOE [人と組織と地球のための国際研究所] 代表者（CEO）、（般社）ジャパン・オンパク 理事、（財）日本自然保護協会 評議員、（般財）ダイバーシティ研究所 評議員、（特）新潟NPO協会 評議員、（特）自然体験活動推進協議会 監事、（特）J-CAPTA 監事

【著書など】隔月刊誌「NPOマネジメント」、『NPO大国アメリカの市民・企業・行政』、『市民組織運営の基礎』、『組織を育てる12のチカラ』、訳：マイケル・E・ポーター『価値を創造する助成へ』、監訳：『NPO理事の10の基本的責任』、『理事を育てる9つのステップ』など

## 【お問い合わせ・申し込み先】

特定非営利活動法人 山形の公益活動を応援する会・アミル

〒990-0828 山形市双葉町2-4-38 双葉中央ビル3F (担当：松原 峻)

TEL：023-674-0606 (※電話受付時間：月～金曜 9：00～17：00)

FAX：023-674-0808 E-mail：amill@major.ocn.ne.jp

「交流会 企業とNPOは、なぜ、どのように連携できるか」 参加申込書

FAX：023-674-0808

山形の公益活動を応援する会・アミル 双葉事務所行

所属名			
役職名			
氏名1	(ふりがな)		
役職名			
氏名2	(ふりがな)		
TEL		FAX	
Eメール			
【通信欄】 ※今回のセミナーに期待することなど自由にご記入下さい。			

[個人情報の利用目的について]

ご記入いただいた個人情報は、本セミナーに関する円滑な運営のみに利用させていただきます。